

I N D E X

- 創薬支援ソフト「myPresto」のご紹介
- 第 12 回 JBIC バイオ関連基盤技術研究会開催のご案内 (JBIC 会員企業限定)
- 名古屋シンポジウム開催のご案内
- BioJpan2012 開催のご案内

■創薬支援ソフト「myPresto」のご紹介

従来のコンピュータシミュレーション技術では、十分な効果をもち医薬品となり得る化合物の取得は困難とされておりましたが、myPresto は従来に比べて 100 倍以上高い効果を示す医薬品候補化合物の取得を可能にしました (NEDO プレスリリース [http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5\\_100126.html](http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100126.html) )。myPresto は、製薬以外にも、化粧品、食品、塗料、素材化学等の分野での利用も期待されております。

myPresto は、経済産業省及び独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構より委託を受け、大阪大学蛋白質研究所の中村春木教授を中心として開発を進めております分子シミュレーションソフトウェアで、下記公開サイトからダウンロードして無償でご利用いただくことができます。また、myPresto についてより理解を深めていただき、多くの方にご利用いただけるよう、NEDO 特別講座で、実習を交えての紹介も行っております。

《myPresto 公開サイト》

- 一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム  
<http://www.jbic.or.jp>

- 大阪大学蛋白質研究所プロテオミクス総合研究センター

<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>

- 独立行政法人産業技術総合研究所バイオメディシナル情報研究センター  
タンパク質構造解析チーム

<http://unit.aist.go.jp/birc2/protein/presto/index.html>

- NEDO 特別講座

<http://nedo.cespi.nagoya-u.ac.jp/about.html>

◎myPresto 関連ソフト「MF myPresto」

MF myPresto はベンチャー企業の株式会社フィアラックス社が開発した myPresto 用の GUI ソフトウェアです。

<http://fiatlux.co.jp>

-----  
■第 12 回 JBIC バイオ関連基盤技術研究会開催のご案内

※本研究会は JBIC 会員企業の方限定です。

-----  
【第 12 回テーマ】『分子イメージング技術の最新動向とその応用』

分子イメージング技術は、生体内の遺伝子やタンパク質などの様々な分子の挙動を観察する技術であり、PET に代表されるような病気の診断や治療などの医療分野への応用だけでなく、創薬候補物質のスクリーニングや投与薬剤の動態などの創薬開発への応用が期待されています。特に、分子イメージング技術は、エビデンス（科学的根拠）に基づく診断・治療や薬物分子動態解明による新たな形の創薬開発を可能とする技術として注目されています。

今回の研究会では、「分子イメージング技術の最新動向とその応用」をテーマとして、Dry と Wet の両面から最新の技術を紹介いたします。

最初の講演は、理化学研究所和光研究所・横田チームリーダーによる、細胞の時空間解析を可能とする細胞シミュレーション統合プラットフォーム RICS について、二つ目は慶應義塾大学・中迫教授による、X線自由電子レーザーSACLA及び大型放射光施設 SPring-8 を利用した非結晶粒子のイメージング技術についてご紹介いたします。

【日 時】 2012 年 9 月 26 日（水） 15:00～17:00

【会 場】 JBIC 第 1 会議室

（東京都江東区青海 2-4-32 TIME24 ビル 10 階）

アクセス <http://www.jbic.or.jp/bio/g/map/map.html>

【会 費】 無料

【プログラム】

15 : 00－16 : 00

「細胞内外の空間を考慮したシミュレータ：RICS の開発」

独立行政法人 理化学研究所 和光研究所

基幹研究所 先端技術基盤部門

次世代計算科学研究開発プログラム

細胞スケール研究開発チームリーダー 横田秀夫 氏

16 : 00－17 : 00

「SACLA と SPring-8 を利用した非結晶粒子のコヒーレント X 線

回折イメージング」

慶應義塾大学理工学部物理学科 教授 中迫雅由 氏

【申込方法】

※JBIC 会員企業の方のみお申込みいただけます。予めご了承ください。

下記必要事項①～⑤をメール本文にご記入いただき、9/24（月）までに  
[workshop@jbic.or.jp](mailto:workshop@jbic.or.jp) へ送信してください。

- ① 会社名／団体名
  - ② 部署／所属
  - ③ 参加者氏名（ふりがな）
  - ④ 電話番号
  - ⑤ メールアドレス
-

■ 「Nagoya Symposium Frontiers in Structural Physiology  
(名古屋シンポジウム)」 構造生理学最前線 開催のご案内

---

本シンポジウムは、G 蛋白質共役型受容体の構造解析及び G 蛋白質との複合体の解析に成功した Brian Kobilka 教授、また 2003 年にノーベル化学賞を受賞された Rod MacKinnon 教授、同じく 2003 年にノーベル化学賞を受賞された Peter Agre 教授をはじめとして、構造生理学分野における代表的な研究者（海外 22 名、国内 10 名）をお招きしてご講演いただきます。

また、ポスター発表による意見交換の場も設けております。このような世界をリードする研究者が一堂に会する機会にはありませんので、奮ってご参加ください。

主催：名古屋大学細胞生理学研究センター(CeSPI)

共催：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

後援：日本電子株式会社 (JEOL)

日時：2013 年 1 月 22 日 (火) - 24 日 (木)

場所：名古屋大学豊田講堂

参加費：無料

申込締切：2012 年 11 月 30 日(金)

プログラム、申込方法等の詳細は下記をご覧ください。

<http://symposium.cespi.nagoya-u.ac.jp/>

【お問い合わせ】

名古屋シンポジウム事務局

[sp.hotta@cespi.nagoya-u.ac.jp](mailto:sp.hotta@cespi.nagoya-u.ac.jp)

TEL : 052-747-6794

---

■ BioJpan2012 開催のご案内

---

2012 年 10 月 10 日 (水) - 12 日 (金) @パシフィコ横浜

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/>

■□ 1. 新マッチングシステムへのご参加お待ちしております □■

最新技術を持つ大手企業/ベンチャー企業/大学/研究機関が参加しています。

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/partnering.html>

新マッチングシステム（有料）がこれら参加者との商談を強力にサポートします！

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/matching.html>

■□ 2. PMDA 薬事戦略相談会 in BioJapan 2012 □■

8月末（予定）より相談受け付け開始！ この機会を是非ご利用下さい。

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/index.html>

BioJapan 事務局（株式会社 ICS コンベンションデザイン）

TEL : 03-3219-3565 / FAX : 03-3219-3628

Email : [biojapan@ics-inc.co.jp](mailto:biojapan@ics-inc.co.jp)

=====  
●JBICに関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。

<https://www.jbic.or.jp/roku/voicebox/input.html>  
=====

●配信中止、変更はこちらから。

[https://www.jbic.or.jp/roku/m\\_chushi/input\\_ch.html](https://www.jbic.or.jp/roku/m_chushi/input_ch.html)  
=====

●発行:一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム

JBIC めるまが編集部 <http://www.jbic.or.jp/>  
=====

Copyright(c) 2012 JBIC. ALL rights reserved.ALL rights reserved.